

コミュニティ・スクール 実践集2023



令和6(2024)年3月
名張市教育委員会

目 次

名張版コミュニティ・スクール	・・・	1
コミュニティ・スクールからスクール・コミュニティへ	・・・	5
名張版コミュニティ・スクールの取組		
■名張小学校 学校運営協議会	・・・	8
■蔵持小学校 学校運営協議会	・・・	12
■薦原小学校 学校運営協議会	・・・	15
■比奈知小学校 学校運営協議会	・・・	19
■美旗小学校 学校運営協議会	・・・	23
■箕曲小学校 学校運営協議会	・・・	27
■錦生赤目小学校 学校運営協議会	・・・	30
■桔梗が丘小学校 学校運営協議会	・・・	34
■桔梗が丘南小学校 学校運営協議会	・・・	37
■桔梗が丘東小学校 学校運営協議会	・・・	41
■すすらん台小学校 学校運営協議会	・・・	43
■梅が丘小学校 学校運営協議会	・・・	47
■百合が丘小学校 学校運営協議会	・・・	50
■名張中学校 学校運営協議会	・・・	53
■赤目中学校 学校運営協議会	・・・	59
■桔梗が丘中学校 学校運営協議会	・・・	63
■北中学校 学校運営協議会	・・・	66
■南中学校区（つつじが丘小学校・南中学校）学校運営協議会	・・・	70
付録：コミュニティ・スクールだより	・・・	75

は じ め に

名張市では、令和2年に市内全小中学校がコミュニティ・スクールとなり、令和5年で4年目を迎えています。「第二次名張市子ども教育ビジョン後期計画」における重点取組の一つとして取組を進めている「名張版コミュニティ・スクールの推進・充実」は、着実にその歩みを進めており、本市におけるコミュニティ・スクールは、学校における日常の風景として浸透してきています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、本市のコミュニティ・スクールの推進にも大きな影響がありましたが、令和5年5月8日から同感染症の感染症法上の位置づけが5類へ変更されたことに伴い、様々な行動制限が緩和されました。学校における諸活動も同様で、以前のような人と人との直接の関わり合いが戻ってきました。

そうした中で、本市のコミュニティ・スクールにおける動きとして、特徴的な動きが二点あります。一点目は「教職員の参画」です。日々、子どもたちと向き合い多くの時間を過ごしている担任や担当の先生方と学校運営協議会委員（以下「委員」）の皆さんとが、直接思いを伝え合おうとする試みが複数校で見られます。このような取組を通じて、委員の皆さんからは、「先生方がめざしている子どもの姿が知れてよかった。」という声や、教職員からは「委員の皆さんの思いが知れてよかった。」「委員やボランティアの皆さんは、なくてはならない存在だと改めて思った。」といった声が多く聞かれました。このような出会いの場を通じて、管理職だけではなく全教職員にコミュニティ・スクールの当事者意識や参画意識が醸成されつつあります。二点目は「子どもたちの参画」です。学校運営協議会はコミュニティ・スクールを推進する、いわばエンジンです。そのエンジンにもっと子どもたちの思いを取り入れようとする動きが見られます。市内のある中学校では生徒会役員と委員との懇談の場が設けられ、地域行事への生徒の参画が具体的に話し合われました。そこでは、生徒はお客さんとして参加するのではなく、運営側として参画する姿勢が感じられ、委員の皆さんだけでなく教職員も多くの気づきを得ることができました。

この「コミュニティ・スクール実践集 2023」は、本年度のコミュニティ・スクールの特色ある実践を集めたものです。コロナ過を経て人と人とのつながりの大切さを改めて実感した今だからこそ、進めていくべき方向があります。様々な工夫をしながら取り組んだ各校の実践に学び、来年度以降の取組をどのように進めていくのかをともに考えていきたいと思います。

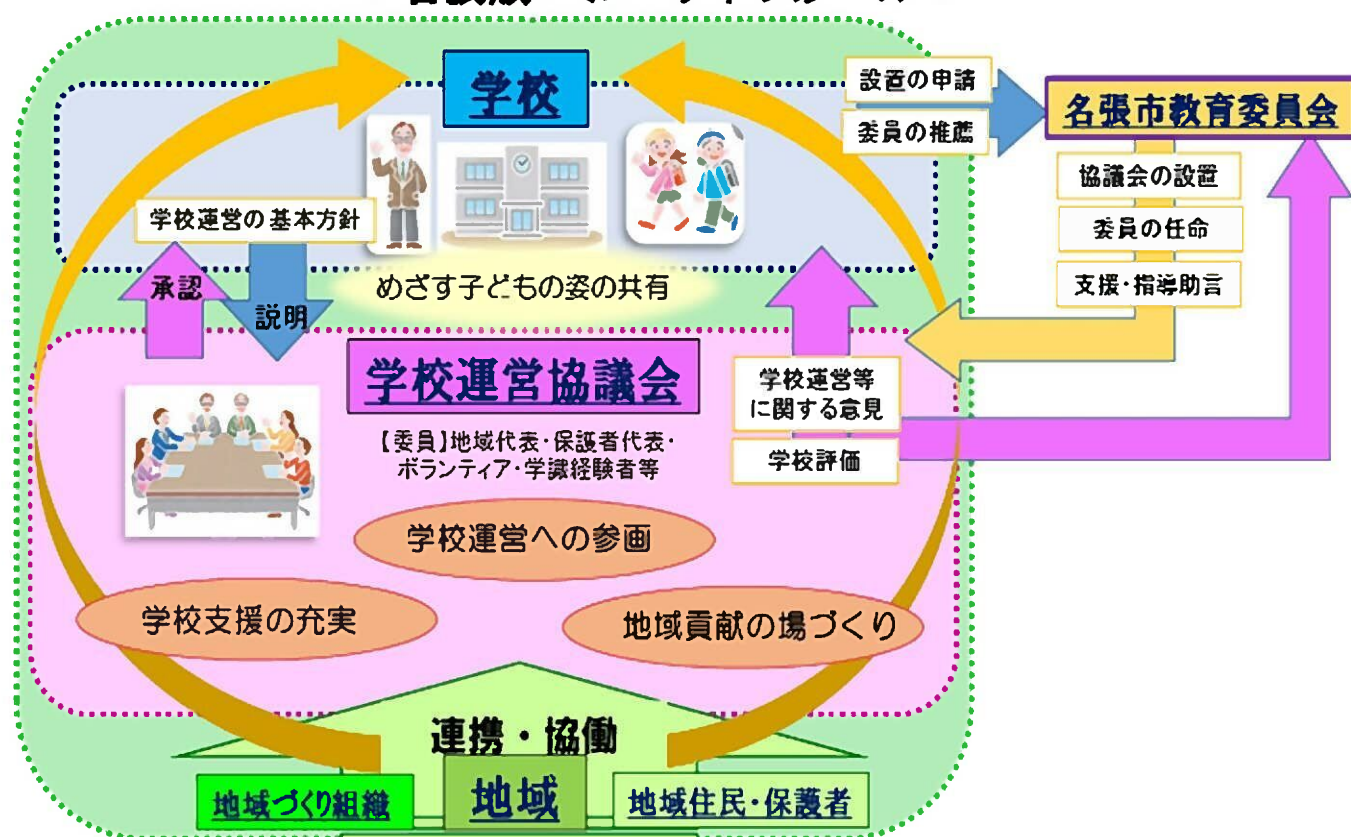
令和6年3月
名張市教育委員会

名張版コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは、未来を担う子どもたちの豊かな成長のために学校・地域・保護者が連携・協働し、それぞれが、自分たちに何ができるか当事者意識をもって子どもたちの成長を支えていく仕組みです。子どもを取り巻く環境は今後、大きく変化していくものと考えられ、これからの時代を生きる子どもは、一人ひとりが多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的にたくましく切り拓いていく力や人と繋がり、共に学び合い、支え合って豊かな未来の社会を築いていく力が求められます。

名張市では、市内すべての小中学校が学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）です。名張版コミュニティ・スクールの特徴は、「学校運営」「学校支援」「地域貢献」を3つの柱として取組を進めていることです。それぞれのコミュニティ・スクールでは、学校・保護者・地域住民が、めざす子どもの姿を共有し、地域の子どもの「学び」と「育ち」に係わる当事者として、連携・協働した取組を実施しています。

* 名張版コミュニティ・スクール *



【名張版コミュニティ・スクール 3つの柱】

① 学校運営への参画

市内のコミュニティ・スクールでは、学校と保護者や地域の皆さんが互いに知恵を出し合い、学校運営へ意見を反映させています。学校運営協議会においてめざす子どもの姿を共有し、課題解決等に向けて教育課程・授業改善・学校評価等の学校運営に参画しています。小中一貫教育カリキュラムである「英語教育」や「ふるさと学習『なばり学』」「キャリア教育」実施への協力など、小中一貫教育の教育活動へも参画しています。

学校運営方針の承認



熟 議



ワークショップ形式の熟議



授 業 公 開



ふるさと学習「なばり学」



学校課題についての熟議



② 学校支援の充実

名張市では、平成17年度から学校支援ボランティアの登録制度を設け、平成20年度以降、国の学校支援地域本部事業を受けるなど、学校支援の仕組みを構築してきました。

コミュニティ・スクールの設置により、めざす子どもの姿の実現のための学習支援・部活動支援・環境美化・安全確保支援等の学校支援体制がさらに充実してきています。

学 習 支 援



野外活動支援



環境整備支援



プール学習支援



読み聞かせ



部活動支援



実技指導補助



登下校見守り支援



工作指導補助



③ 地域貢献の場づくり

名張市内それぞれの地域づくり組織では、将来計画である「地域ビジョン」を策定しています。「地域ビジョン」には、地域づくり活動への参画や地域の担い手づくりに向け、さまざまな活動が盛り込まれています。

コミュニティ・スクールでは、「地域ビジョン」を共有し、地域を愛し地域を担う人づくり、地域の絆づくりのため、まちづくり活動への参画や地域と学校合同の防災訓練、地域の清掃活動など、学校の特色を生かした地域貢献の場づくりを行っています。子どもたちが今住んでいる地域のことを知ることは、地域を担う人づくり、絆づくりにつながるとして、地域学習へも積極的に取り組んでいます。

まちづくり活動への参画



地域清掃活動



総合防災訓練



防災ワークショップ



学校図書館開放



地域学習



お礼状の贈呈



地域伝統の継承



交通安全標語の作成



コミュニティ・スクール から スクール・コミュニティへ



コミュニティ・スクールの取組の中で、学校は、地域住民の力をお借りし、地域学習に取り組んでいます。子どもは、農業体験や行事への参加を通して、ふるさとの自然や産業、歴史、文化等に触れるとともに、その学習に係わっていただいた地域の方とふれあい、絆を深める機会を得ています。これからの地域を支える子どもが、小中学生時代に地域の方々と触れ合い、様々な経験をすることは、少子・核家族化が進み異年齢とのコミュニケーションの機会が減っている子どもにとって、とても有意義な機会となっています。

また、地域の方々は、学校教育活動に参画し、ボランティアとして学校支援に携わることで、楽しみややりがいを感じています。さらに、子どもや教職員は、地域の方々に支えられていることを実感し、感謝の気持ちを伝えることができます。卒業した子どもの中には、「地域の方々のように自分も誰かの役に立ちたい」「地域に貢献したい」という思いを持っている子どももいます。学校という場において、このような温かな交流がもたれていることは、子どもの豊かな心の醸成のためにも地域の人づくりのためにも好影響を与えるものと考えます。

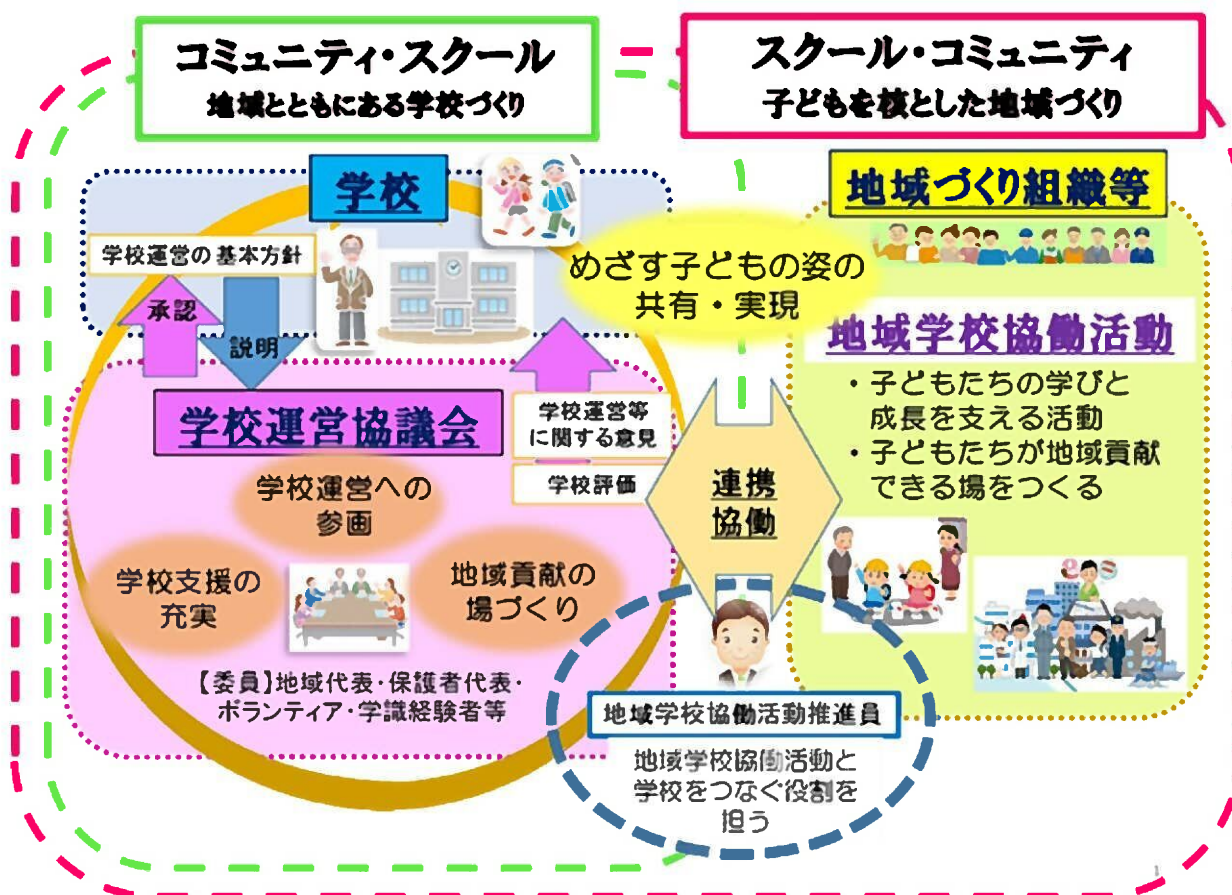


少子高齢化の進行による人口減少社会とともに、グローバル化や急速な技術革新に伴い予測不可能で変化の激しい時代が到来しています。未来を担う子どもの豊かな成長のためには、学校と保護者・地域住民が連携・協働した取組を充実させていくことが必要です。

本市では、学校が主体となって行う教育活動とは別に、地域づくり組織等が学校と連携・協働して「地域学校協働活動」を推進し、コミュニティ・スクールから発展させた子どもを核とした地域づくりである「スクール・コミュニティ」の体制を構築していきたいと考えています。

【スクール・コミュニティとは】

スクール・コミュニティとは、子どもを核とした地域づくりのことです。地域づくり組織等では、これまでも、子どもの健やかな育成をめざした様々な活動を実施していただいています。スクール・コミュニティは、これら子どもたちの学びと成長を支える活動や子どもたちが地域貢献できる活動（※地域学校協働活動）を学校運営協議会と協働して、より充実していこうとする仕組みです。地域学校協働活動を学校運営協議会と連携・協働しながら一体的に推進し、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとを持続発展させていこうとする子どもを育成し、地域の活性化をめざします。



【地域学校協働活動とは】

地域学校協働活動とは、「子どもを核とした地域づくり」をめざし、地域住民・保護者等の参画を得て実施する、子どもたちの学びと成長を支える活動や地域貢献活動のことです。

地域学習・職場体験学習

- ◆「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする活動。
- ◆地域の産業についての職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習等。

地域の行事等への参画

- ◆地域の行事、イベントへのボランティア参加・企画からの参画。
- ◆伝統行事での伝統文化・芸能の発表。
- ◆地域の防災訓練への参画等。

地域未来塾

- ◆中学生等を対象に、教員OBや高校生・大学生等などの地域住民の協力によって行う学習支援活動。

学校に対する様々な協力活動

- ◆登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、読み聞かせ、授業補助や部活動の支援、企業等の教育プログラムの提供等。

放課後子ども教室

- ◆地域住民の参画を得て、放課後や休日等に行う、学習や体験・交流といった様々な活動。

家庭教育支援活動

- ◆家庭教育について、保護者が学ぶ機会づくり等。



名張版コミュニティ・スクールの取組

名張小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月8日（木）14時～16時〉

授業の様子を出席委員全員で参観し、その後協議会実施。

- ① 会長・副会長の選出と委嘱状交付
- ② 学校運営協議会組織について
 - ・今年度より部会制ではなく全員で協議していくこととなりました。
- ③ 学校経営計画・年間計画の承認
- ④ コミュニティ・スクール推進計画について
 - ・学校環境の整備などについて学校支援ボランティアや地域の協力を得ていくこととなりました。
 - ・「名小版なばり学」の取組と地域行事等との関係が一目でわかる「名小CSカレンダー」（下図参照）をもとに、本年度のコミュニティ・スクール推進について共通理解を図りました。
- ⑤ 「名小版なばり学」について
 - ・昨年度行った「名小まつり」のとりやめと、本年度より復活する名張の秋祭りへの学校からの協力等について共有しました。
 - ・「名小版なばり学」推進への地域からの協力について話し合いました。
- ⑥ 名張小学校創立150周年記念事業について
 - ・「名張小学校創立150周年記念事業実行委員会」（多くの委員が兼任及び協力）の150周年記念事業実施予定に係る進捗状況を共有し、運営協議会としての協力を確認しました。

令和5年度 名張小学校『名小版なばり学』～なばりのええとこ見つけ隊～ 名小CSカレンダー 5月2日現在												
各学年「なばりのええとこ見つけ隊」は、地域のボランティアや地域のゲストティーチャー、地域の施設等と連携 各学年計画は、新成の経典変更有												
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
学年												
1	川はかせになろう(全22時間)											
	城下川 竹筒灯			城下川の生き物(川の会)			城下川探検(河川レンジャー)		集会で発信 地域へ発信		振り返り	
2	なばり すてき はっけん(全38時間)											
	まちたんけん						まちたんけん			地域のよそをまとめる ふりかえり		
3	なばりのまちたんけん(全24時間)											
	図書館、赤目庵、市役所の見学						秋祭りについて		祭典屋について、神庫について 北平製菓化センターの見学		集会で発信 地域へ発信 えびす祭りについて	
4	なばりのええとこ見つけ隊 なばりの町づくり(全30時間)											
	公共施設(図書館、ADSホール等) 総合福祉センターふれあい 集会で発信						お参りと交流			地域福祉のためにできること		
5	深掘りしよう、名張の産業(全20時間)											
	「なばり学」の教科書(下) 伊賀なばりくろしと人 名張の主要						製菓屋 栗田ゴールドファーム			集会で発信 パンフレットづくり		
6	「校区にある歴史発見～ 謎解きフィールドリサーチ ～」(全12時間)+名張市版「なばり学」											
	栗原宮城 ふるさと公園(能舞台)			謎解きフィールドリサーチ 栗原家邸、太鼓門・・・								
運営協議会			第1回				第2回				第3回	
150周年	第2回		第3回		第4回	第5回	第6回	記念式典	第7回			
ボランティア	(年間を通じて) 教科ボランティア 図書館ボランティア 城下川見守り 校区探検見守り 環境美化 ゲストティーチャー											
地域行事	城下川竹筒灯			5・6やなせ祭り 城下川竹筒灯			7・8厚街道市 29・29幸福秋 祭り 城下川竹筒灯		学園祭			
	2年の5～6、10～11月 ・やなせ祭・大和屋・城下川・とねなば・かばちふ公園・新町温泉・宇流富志備神社・貝魚屋・名張青蓮保寿寺(伊賀館にて)・栗原家邸・乱歩公園・はなびし庵・蛸子神社						6年の11～1月 ・栗原家邸・太鼓門・はなびし庵・宇流富志備神社・栗原神社・えびす神社・サンロード・やなせ祭・江戸川乱歩主税の地					

【第2回】学校運営協議会〈令和5年11月30日（木）10時45分～12時30分〉

授業の様子を出席委員全員で参観し、その後協議会実施。

① 150周年記念事業の進捗について

- ・150周年記念事業に関し、10月14日に開催した記念式典や事業の進捗について確認・共有しました。

② 「名小版なばり学」の進捗状況について

- ・「名小CSカレンダー」をもとに進捗状況を確認するとともに、お年寄りとの交流（総合福祉センターふれあいにて）、秋祭りへの参加等、地域における学習の進捗や諸地域行事への学校の参画等について、教育公務員弘済会の懸賞論文で入選したことにも触れながら、「名小版なばり学」が着実に取組を進めていることを共有しました。

③ 「よりそいボランティア」について

- ・不登校傾向の児童や、落ち着いて授業に参加しにくい状況の児童への支援等のために、学校として「よりそいボランティア」を募りたいという計画について、どのような呼びかけがよいか等議論し、今後の展開を共有しました。

【第3回】学校運営協議会〈令和6年2月28日（水）18時～19時30分〉

① 本年度の総括

② 次年度に向けて

2. 創立150周年に関するコミュニティ・スクールとしての取組について

本年度本校は創立150周年を迎えることとなったので、昨年度より名張小学校創立150周年記念事業実行委員会が立ち上げられました。実行委員会は、学校運営協議会委員やPTA、同窓会、地域関係者等で構成し、12月末時点で7回開催する中で、まさに学校と地域が一体となって本校150周年事業を実施していくことができました。

【学校と地域が一体となって行った150周年記念事業】（1月末現在）

- ・校舎北側フェンスに創立150周年周知の為の横断幕設置
- ・航空写真撮影
- ・本格復活した名張市花火大会に協賛
- ・150周年記念の運動会
- ・滑り台新設
- ・隠街道市で、PTA広報誌「清流」（過去に発行）の展示（児童作品展示とともに）
- ・150周年記念式典開催（元プロ野球選手で卒業生の桑原さんを招いての野球教室開催、Wako's Wind Orchestra を招いての記念コンサート開催）
- ・名張の街を彩る、150周年にちなんだ竹行灯の制作
- ・六年生による8年後の自分宛ての手紙作成（藤堂家邸預け）
- ・一年生による校歌に登場する「春日の森」への記念植樹
- ・児童や地域の方に親んでもらうための「百年の森」の段階的整備



花火大会に協賛



隠街道市に展示



野球教室



記念コンサート

3. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校経営計画・年間計画の承認をいただくとともに、学校経営の方向性について、情報共有を行い、コミュニティ・スクールの推進に係り地域と一体となって行う取組について、ともに考えました。
- ② 「名小版なばり学」の学習を通しての名張を愛する児童の育成について、学校・保護者・地域が協働して行う取組について議論しました。
- ③ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめる予定です。

(2)【学校支援の充実】

登下校の見守り、「名小版なばり学」における校区探検等の付き添い、家庭科等の教科の支援、クラブ活動、読み聞かせ、学校行事支援、環境整備等でボランティア活動を実施していただきました。また、不登校傾向児童や、学習時の児童支援のための「よりそいボランティア」立ち上げに関し、どのように進めたらよいか学校運営協議会でアイデアや意見をいただきました。今後、運営につなげていく予定です。



登下校の見守り



校区探検付き添い



クラブ活動



校区探検付き添い



出前授業



本の読み聞かせ



環境整備支援

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 「名小版なばり学」において、児童が地域を学ぶ姿を地域の人たちに見ていただくことにより、地域をよりよくしている方々の力になることができたと考えています。
- ② 「名小版なばり学」における学習の成果を、「なばりのええとこ見つけ隊！」マップや、ホームページで紹介し、観光地名張を広く宣伝し、名張の活性化の一翼を担えればと考えています。
- ③ 地域に協力して名張の秋祭りへの児童参加を呼び掛けました。名張学園祭では、5・6年生の有志が参加し、学習の一端を披露することで、学園祭を盛りあげることに貢献できました。
- ④ 隠街道市においては、クラブ活動の成果物を展示しました。
- ⑤ 総合福祉センターふれあいにて、4年生がお年寄りとのふれあったり、学習成果を披露したりすることで、地域と交流を深めました。



みこしを担ぐ児童



だんじりにのる児童

4. 成果と課題

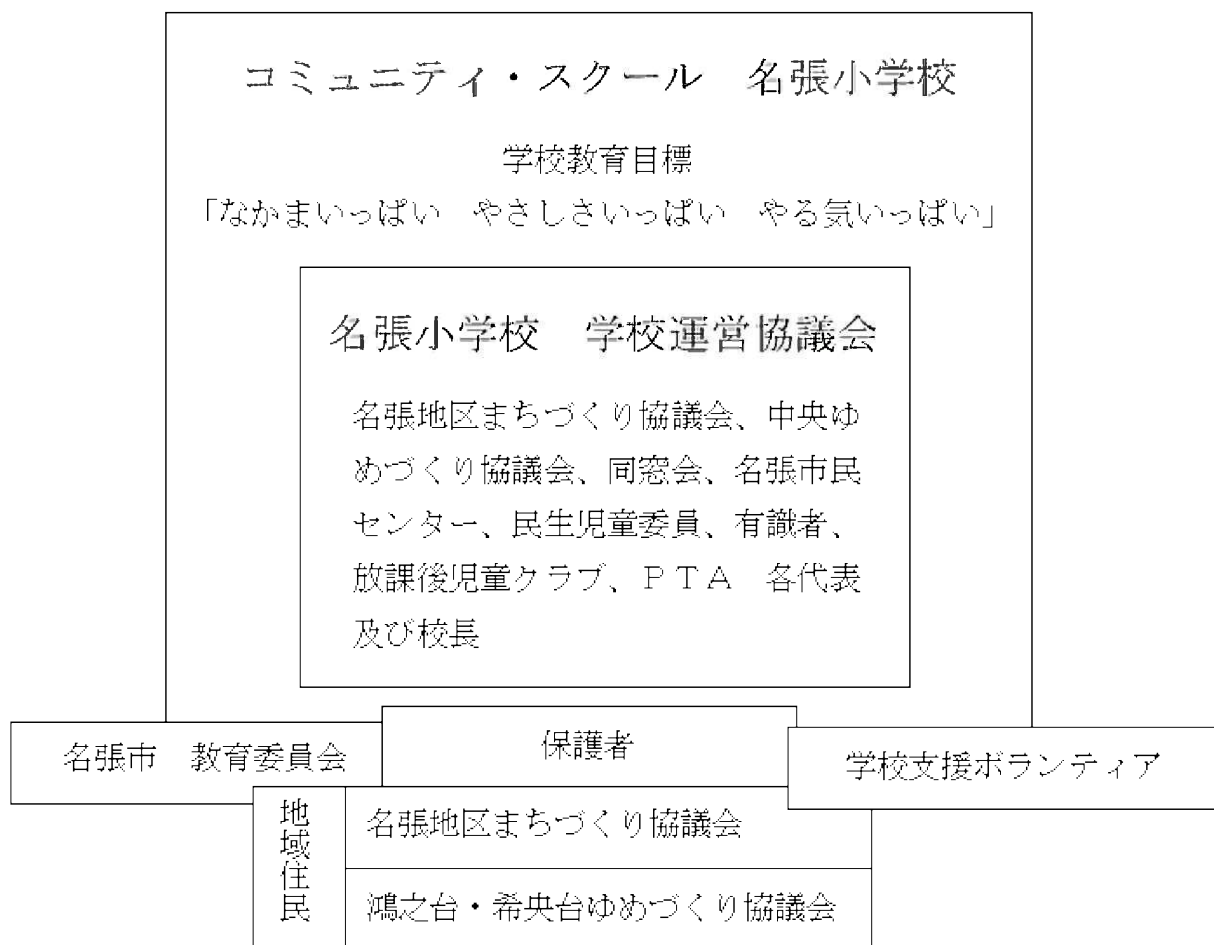
【成果】

- ◇「名小版なばり学」において、全校児童が地域に出向いて学習することにより、地域の方々と触れ合う機会が格段に増えています。また、学校の取組を支援してくださる方も増え、地域と学校の一体感が生まれていると感じています。
- ◇150周年記念事業を150周年記念事業実行委員会が主体となって行った結果、多くの地域の方々の賛同を得ることにつながり、学校の取組を発信する機会にもなりました。
- ◇ボランティアの方々に、様々な場面で協力いただけたことで、子どもたちの学びの成果につながりました。また、安心・安全な活動を行うことができ、教職員の負担軽減にもつながりました。
- ◇名張学園祭や隠街道市への参加で、子どもたちの良さを地域に広く発信することができました。

【課題】

- ◆学校が行っている行事を地域へさらに発信することで、地域への浸透を図り、コミュニティ・スクールとしての位置づけを確かなものにしていく必要があります。
- ◆地域貢献の場は豊富にありますが、働き方改革を念頭に入れ、地域の理解を得ながら精選して協力していく必要がある。
- ◆ボランティアに関しては、協力いただける方を増やしていくことを考えるとともに、後継者の育成も視野に入れた、学校運営協議会の運営をしていく必要があります。

5. 学校運営協議会の組織図



※図の重なりは、連携・協働を表しています。

蔵持小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和5年6月3日（金）13時45分～16時30分〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付及び会長・副会長選出
- ③ 令和5年度学校運営について
- ④ 「学校・地域 協働活動年間計画」の確認及び今後の活動方針
- ⑤ 情報交換

【第2回】学校運営協議会〈令和5年11月29日（水）13時25分～16時30分〉

- ① 児童集会参観・児童の様子交流
- ② 学校評価アンケート結果について
- ③ 全国学力・学習状況調査の結果について
- ④ 熟議「『学校・地域協働活動年間計画』の取組を通して～育てたい子どもの姿～」

【第3回】学校運営協議会〈令和6年2月22日（木）15時00分～16時30分〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 令和5年度学校評価書について
- ③ 来年度の学校運営について
 - ・第2回熟議を受けての次年度の取組
 - ・「学校・地域協働活動年間計画」の修正・確認
 - ・児童と委員との協議について



学校運営協議会

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観後、学校運営（基本方針等）の承認をいただきました。
- ② 「『学校・地域協働活動年間計画の取組』を通して～育てたい子どもの姿～」というテーマで学校運営協議会委員と全教員によって熟議を実施しました。
- ③ 児童・保護者・教職員アンケート結果及び全国学力・学習状況調査の結果からみえてきた課題について共有と、今後の取組について協議しました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校運営協議会評価書」としてまとめました。



②熟議：「学校・地域協働活動年間計画」の取組を通して ～育てたい子どもの姿～

(2)【学校支援の充実】

- ① 学習支援：「学校・地域協働活動年間計画」に基づき、米作りの体験授業(田植え、稲刈り)やさつまいも作り、地域の施設見学及び歴史学習、なばり学、防災学習など、地域住民や学校支援ボランティアに計画的に学習支援していただくとともに、学校支援ボランティアには「読み聞かせ」も実施していただきました。
- ② 交通安全：学校支援ボランティアを中心に、日々の児童の登下校の見守りを行っていただきました。また、名張警察や地域の「見守り隊」の方々と「交通安全教室」を開催しました。また通学路における危険箇所を確認するとともに、地域と連携し行政への信号機設置の要請などを行いました。
- ③ 環境整備：学校運営協議会委員、地域老人会である蔵持寿会及び地域ボランティアの方々が PTA 環境整備作業に参加いただきました。また月に一度、ボランティアによる運動場の除草作業も行っていました。あわせて、図書ボランティアによる定期的な図書室の環境整備も実施していただきました。
- ④ 居場所づくり：蔵持地区市民センターに依頼し、夏休みや冬休みにおける自習室の開放や工作講座の実施など、長期休業中の子どもたちの「居場所づくり」に協力いただきました。



①田植え体験



②登下校の見守り

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 「蔵持市民センター祭」展示会に児童の絵画等の作品を出品するとともに「センター祭」発表会（地域文化祭）を、本校を会場として実施していただきました。本校全児童も参加し、合唱を披露するなど、地域との交流を深めました。
- ② 蔵持消防団及び蔵持地区まちづくり委員会 安全・防災部会主催の「地域防災教室」に4年生児童が参加しました。また、名張市総合防災訓練では、蔵持消防団との傷病者搬送訓練を実施しました。
- ③ 蔵持市民センター主催の「高齢者学級」に1年生児童が参加し、昔遊びの発表や昔の暮らしについての質問、ゲーム等で交流を深めることができました。
- ④ 本校体育館で、蔵持市民センター事業の「世代間交流音楽会」を開催しました。当日は、5年生児童が蔵持こども園の園児や蔵持寿会（敬老会）女声コーラスの方々と合唱に取り組み、全校に披露しました。
- ⑤ 蔵持地区まちづくり委員会、緑が丘コミュニティバス運営協議会、三重交通、名張市都市計画室による「バスの乗り方教室」が実施され、2年生児童が参加しました。
- ⑥ 蔵持獅子神楽保存会による「蔵持獅子神楽」を鑑賞しました。保存会に参加している本校児童が全校児童の前で「子ども天狗」の舞を披露しました。
- ⑦ 登下校や環境整備、学習支援や施設見学等でお世話になった様々なボランティアや地域施設の方々に、学期ごとに子どもたちからお礼の手紙を届けることで、感謝の気持ちを伝えるとともに、交流を深めました。



①蔵持市民センター祭への参加



②地域防災教室



③地域高齢者との交流

3. 成果と課題

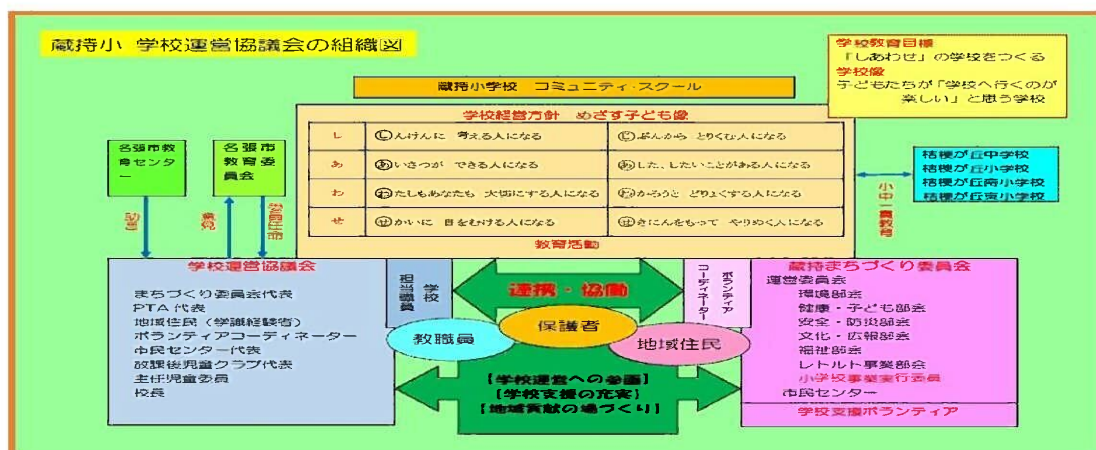
【成果】

- ◇学校運営について、幅広い視点での理解ある意見や示唆をいただけたことで、子どもたちの「学び」と「育ち」に係る連携・協働した取組を進めることができました。
- ◇昨年度策定した令和5年度「学校・地域協働活動年間計画」に基づき、学校と地域が計画的に取組を実施することができました。また、これまでの地域からの活動支援について、改めて学校運営協議会の活動として整理したことで、支援の充実・発展につなげる仕組みづくりにつなげることができました。また、今年度、蔵持地区まちづくり協議会のなかに「小学校事業実行委員」も新設され、地域からも見通しをもって、主体的、計画的な支援を継続的にいただくことができるようになりました。
- ◇今年度、蔵持市民センター祭（地域文化祭）を本校施設で実施し、全児童が参加し、延べ1,100人を超える参加者数となりました。また市民センター主催の「世代間交流音楽会」も本校体育館で開催し、本校児童が蔵持こども園児・蔵持寿会（敬老会）女声コーラスとともに、合唱を披露するなど、様々な交流を行うことができました。蔵持市民センターの教養講座の開催や「蔵持獅子神楽」など、地域行事を小学校施設で実施していただいたことで、子どもたちとの交流、また地域住民相互の交流ができたことは、児童を含めた地域住民の相互の結びつきを深める「スクール・コミュニティ」への第一歩とすることができました。
- ◇全教職員が参加し、学校運営協議会委員と熟議を行うことができました。熟議参加者全員でめざす子どもの姿を共有した上で、体験学習など地域の教育的支援を通じて、子どもたちの取り組む様子や成長した姿、そして身についた力などについて、活発な熟議を行うことができました。このことから、地域からの支援の意義を改めて確認することができたとともに、次年度の協働した取組へつなげる足掛かりとすることができました。今後は、委員と児童が協議する場の設定を図っていきたい。

【課題】

- ◆学校支援ボランティアの高齢化等に対応するため、まちづくり委員会や各自治会、敬老会など、「個々による支援」から「組織からの支援」への転換など、人材確保や人材発掘のための仕組みの構築を図っていく必要があります。
- ◆子どもの主体性や社会性を育むための具体的な方策について、さらに協議を進め、熟議の内容や方法等、より効果的で深まりのあるよう工夫していく必要があります。
- ◆今年度、「市民センター祭」等、地域行事を学校施設を利用し開催することができたが、今後も地域住民と児童がふれあう機会を設定し、学校を身近に感じていただける体制づくりを進めるとともに、児童をふくめた地域住民相互の結びつきが深まるよう、学校から地域へ貢献する場を更に模索していきたい。

4. 学校運営協議会の組織図



薦原小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和5年6月7日（水）9時40分～11時30分〉

- ① 委員による各学級の授業参観（2限目）
- ② 委員の委嘱と委嘱状交付
- ③ 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ④ 学校運営の基本方針について
- ⑤ 学校運営協議会の推進目標と組織図について
- ⑥ 熟議「3部会の活動を充実させよう」

【第2回】学校運営協議会〈令和5年8月18日（金）15時～16時〉

- ① 学校運営協議会委員と教職員との懇談会
テーマ：「薦原ならではの活動をさらに充実させよう」
～1学期の活動を振り返り、2学期以降の活動につなげよう～

【第3回】学校運営協議会〈令和5年11月24日（金）13時10分～14時30分〉

- ① 1学期児童アンケート、全国学力・学習状況調査の結果分析について
- ② 熟議『『ありがとう』の学校づくりをめざし、各部会の活動を具体化させよう』
- ③ 委員による「グングン先生」の授業参観（6限目）

【第4回】学校運営協議会〈令和6年2月22日（木）9時40分～11時30分〉

- ① 委員による各学級の授業参観（2限目）
- ② 本年度の学校運営の成果と課題について
- ③ 「令和5年度の学校評価書」について
- ④ 来年度の学校運営について
- ⑤ 熟議「本年度の活動を振り返り、来年度の活動をよりよいものにしていこう」

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、子どもの様子について交流し、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 小中一貫教育のグランドデザインを示し、取組について周知を図りました。
- ③ 「薦原ならではの活動をさらに充実させよう」というテーマで、学校運営協議会委員と全教職員がグループに分かれて熟議を行いました。
- ④ 児童・保護者アンケートや全国学力・学習状況調査結果からみえてきた課題を共有し、その解決策について協議しました。
- ⑤ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



③教職員参加の熟議

(2)【学校支援の充実】

- ① 2年生が地域ボランティアの方からサツマイモの苗植えの仕方について教えていただきました。収穫したさつまいもは給食でいただきました。
- ② 地域ボランティアの方に協力いただき、5年生が、田植え・案山子づくり・稲刈り・田んぼの生き物調査を行いました。収穫した米はかまどで炊き、おにぎりにしていただきました。
- ③ 地域の方を講師に招き、昔遊び（1年）や薦原のすてき発見（2年）、薦原市民センター訪問・コモコモ号・薦原の昔話・昔の道具の学習（3年）を行いました。
- ④ 生活科の野菜作り（2年）や家庭科のミシン（5・6年）など、各学年の授業を支援していただきました。
- ⑤ 年8回、「グングン先生」の学習支援をしていただきました。
- ⑥ 新体力テストの計測やプール水泳の見守りに協力いただきました。
- ⑦ 「花＊花ウォークラリー」の引率支援に協力いただき、児童の安全を見守っていただきました。
- ⑧ 花壇の整備、運動場・校舎周辺の草刈り等の環境整備作業に協力いただきました。
- ⑨ 「わくわくブックタイム」として、毎週火曜日、読み聞かせをしていただきました。
- ⑩ 登下校の見守り活動を、地域ボランティアの方や市民センターの方に協力いただきました。
- ⑪ 夏季休業中、児童の居場所づくりとして、「寺小屋こもはら（小学生版）」を開催しました。さつき台集会所と薦原市民センターの2か所を会場とし、それぞれ2日間ずつ（計4日間）実施し、夏休みの宿題を中心とした学習活動やもの作り活動などを行っていただきました。



①サツマイモの苗植え



②稲刈り



⑪寺小屋こもはら

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 地域づくり委員会とギフチョウネットワークの協力を得て、4年生が、卵から羽化するまでギフチョウを育てることができました。また、カンアオイの花壇整備も行いました。「ギフチョウ学習会」では、自分たちが地域の一員として、ギフチョウを守る活動を行っていることについて発信することができました。
- ② 地域が開催する「コモコモふれあい祭り」で「コモコモ学習発表会」を行い、各学年が学習してきたことを地域や保護者の方に伝えることができました。
- ③ 3月に「ありがとうの会」を開催しました。1年間お世話になった地域の方に手紙やプレゼントを渡し、「ありがとう」の気持ちを伝えることができました。
- ④ 「子どもを守る家」に協力いただいている地域の方との対面式を行い、児童から感謝の気持ちを伝えることができました。
- ⑤ 薦原まちの保健室と協働し、4年生が認知症サポーター養成講座を体験しました。
- ⑥ 地域への愛着を深める行事として、「花＊花ウォークラリー」を実施しました。ボランティアの方にも協力いただき、縦割り班に分かれて校区を探検しました。
- ⑦ 地域との合同防災訓練として、5・6年生が避難所設営を体験しました。災害が起

こったときに、自分の身を守るだけではなく、高学年としての役割を自覚し、地域の方と協力して何ができるのかについて考えることができました。また、「防災キャンプ」で実際に避難所体験をすることで、地域の一員としての役割を自覚することができました。



④「子どもを守る家」協力者との対面式



⑦地域との合同防災訓練



⑦防災キャンプ

3. 成果と課題

【成果】

- ◇学校運営協議会前に3部会（学校運営部・学校支援部・地域協働部）の部会長会議を開き、それぞれの部会の取組や課題、今後の方向性等を共有することで3部会の活動が深まりました。
- ◇取組の成果や課題を共有し、育てたい子ども像をイメージしながら熟議を行うことができました。前例踏襲ではない新たなアイデアや幅広い視点での意見をいただき、学校支援や地域貢献の場づくりが広がりました。
- ◇本年度、「子どもを守る家協力者との対面式」「寺子屋こもはら（小学生版）」「防災キャンプ」等の新たな取組を行うことができました。保護者や児童から「続けてほしい」との声も多く、内容等を検討し、さらに充実させていきたいと考えます。
- ◇学校支援部の学校支援の活動では、アプリLINEを効果的に活用することで、ボランティア間の情報共有や多くの支援につながりました。
- ◇学校運営協議会委員の皆さんと教職員が懇談会をもったことで、お互いの思いを交流し、子どもたちのためにどんな支援が必要かについて確認することができました。

【課題】

- ◆持続可能な学校にしていくためには、子どもを核とした地域づくりをさらに進めていく必要があります。地域学習やボランティアの支援体制は構築されているので、今後は、子どもたちに夢を与える活動や子どもたちの意見が反映される場を設けることで、薦原地域をさらに活性化させていきたいと考えます。

4. 学校運営協議会の組織

薦原小学校コミュニティ・スクール

学校教育目標

持続可能な未来を拓く「ありがとう」の学校をつくる

めざす子ども

- ① あ：「ありがとう」や「あいさつ」が進んで言え、基本的な生活習慣が身についた子
- ② り：りこうな子。わかる楽しさ・学ぶ喜びを実感できる子
- ③ が：がちりつながる子。子どもどうしのつながりや地域とのつながりを大切にする子
- ④ と：友だちも自分も大切にする子 ⑤ う：運動が好きな子

承認
評価
改善

薦原小学校学校運営協議会

学校運営部

めざす子どもの姿の共有
 ○学校運営協議会
 ○教育課程・学校評価等
 ○学校運営への参画
 ○情報共有

学校支援部

地域のネットワークを生かした学校支援
 ○学習支援 G
 ・授業サポート
 ・「グングン先生」
 ○学校安全 G
 ・登下校の見守り
 ・校内安全サポート
 ○学校図書 G
 ・読み聞かせ
 ・図書室環境整備

地域協働部

地域と子どもが共に育つ場づくり
 ○薦原地域づくり委員会との連携
 ・ギフチョウ保護
 ・コモコモ祭り
 ・運動会
 ・文化祭
 ・鮎つかみ
 ・いもほり
 ・学校の清掃活動 等

連携・協働

学校
教職員

保護者

地域住民

薦原地域づくり委員会

比奈知小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和5年5月31日（水）9時～11時〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付
- ③ 会長・副会長の選出と学校運営協議会組織について
- ④ 学校経営計画・教育課程、教育活動、本校の現状等について
- ⑤ 今後の学校運営協議会について
熟議「学校（子ども）・保護者・地域が連携・協働した、防災訓練の実施に向けて」

【第2回】学校運営協議会〈令和5年10月16日（月）14時30分～16時30分〉

- ① 学校及び児童の様子について
- ② 学校アンケート（児童）結果について
- ③ 全国学力・学習状況調査結果について
- ④ 名張中学校区小中一貫教育の現状について
- ⑤ 学校と地域のかかわりについて（地域と連携・協働した学習：CSカレンダー）
- ⑥ 名張市総合防災訓練に向けた最終確認
- ⑦ 今後のコミュニティ・スクールのあり方について
熟議「地域での子どもたちの居場所づくりについて」
～不登校の子どもたちに、地域で何かできないか～

【第3回】学校運営協議会〈令和6年2月19日（月）9時～11時30分〉

- ① 研修「不登校の子どもとのかかわりを通して」
- ② 学校評価について
- ③ 本年度の学校運営の成果と課題について
- ④ 「令和5年度の学校評価書」について
- ⑤ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 全国学力・学習状況調査、学習や生活についてのアンケートをもとに熟議を行いました。
- ② 小中一貫教育のグランドデザインをもとにして、今年度の取組について周知を図りました。
- ③ 保護者の学校教育に関するアンケート結果について協議し、感想やご意見をいただきました。
- ④ 運営委員会児童12名が、2月5日（月）に、民生委員の方と「比奈知小・地域のいいところ」「地域の方にしてもらいたいこと」「学校・地域で、自分たちがこれからしていくこと」をテーマに、グループに分かれて委員の方々と懇談の場をもちました。
- ⑤ 学校評価についてご意見をいただき、「学校運営協議会評価書」としてまとめました。



①熟議



③熟議



④世代間交流

(2)【学校支援の充実】

- ① 毎週火曜日・木曜日の黒田道、比奈知市民センター前（毎週火曜日）及び、住宅内での朝の登校支援
- ② 毎週水曜日の朝の読み聞かせ
- ③ 図書室の本の修繕
- ④ 学校の環境整備作業
- ⑤ 学期の最初と最後の日における青色パトロール（ひなち地域ゆめづくり委員会安全防犯防災部会）
- ⑥ 学習支援（米・野菜づくり、ミシン・調理実習補助等）



②絵本の読み聞かせ



⑥学習支援



⑥学習支援

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 1・2・3・4年生が比奈知市民センターや比奈知文化センターを訪問し、センター内で開催されている教室を見学したり、交流したりする活動を行い、地域の方とのふれあいを深めました。
- ② 2年生が、なばり学の学習として長瀬・滝之原地区を訪問し、それぞれの地域の方からお話を聞き、学習しました。学習後、お礼の手紙を書いて届けたことを受けて、「嬉しいです」というお言葉と励ましのお言葉を地域の方からいただきました。
- ③ 地域交流の一環である「ひなちっ子クリスマス会」が、ひなち地域ゆめづくり委員会及び比奈知地域福祉委員会主催のもと開催されました。5年生児童が代表で準備から参画し、参加した子どもたちは、地域の方々と楽しく過ごすことができました。
- ④ 比奈知地区文化祭に児童の作品を出展し、地域の方々にも観ていただきました。



①地域の施設の学習



②地域学習
(なばり学)



③ひなちっ子クリスマス会
(高学年児童が行事に参加)



3. 成果と課題

【成果】

- ◇授業参観により、子どもたちの姿を共有することができました。
- ◇学校経営方針や児童・学校の状況等について、熟議を通しながら理解を深め合い、学校経営や子どもたちの育成について多様な視点からご意見をいただきました。
- ◇学校と地域との関わりについて、昨年度から作成しているCS カレンダーをもとに、年度当初に委員の方々と共有できたことで、地域でこんなことができるという取組も紹介していただき、米づくり・野菜づくり等、新たに地域と連携した学習を取り入れることができました。

- ◇第1回学校運営協議会で、「地域と連携・協働した防災訓練について」熟議を行いました。
その第一歩として今回は、保護者とともに一時避難場所へ行き、人数確認終了後、地域の方と登校しました。この学習を通して、子どもたちは、防災意識と地域の一員としての自覚をもつことができたように思います。しかし、あいにくの雨により、地域の消防団と連携した防災学習はできませんでした。来年度は、屋内でもできる活動も考えていきたいと思います。
- ◇クリスマス会のように、地域と子どもたちとのふれあいができたこと、そして、代表の児童が、飾りつけから参画できたことで、互いに自分たちの行動が地域づくりに役立っているという自己有用感を高めることができました。
- ◇民生委員さんと運営委員会児童とで、「比奈知小・地域のいいところ」、「地域の方にしてもらいたいこと」、「学校・地域で、自分たちがこれからしていくこと」について懇談の場（世代間交流）をもつことができました。今後、自分たちの住む地域を、子どもたちがさらに好きになり、学校や地域のよさを子どもたち自身が発信することをめざして取り組んでいきたい。

【課題】

- ◆CSカレンダーを見直し、地域の方々と児童がふれあう場を設定し、学校を身近に感じてもらえる体制作りや地域へ貢献する場をさらに模索していきたい。
- ◆支援していただく方が限られてきており、学校生活支援ボランティアの方も高齢化が進んでいます。今後は、保護者世代に広く呼びかけていきたい。
- ◆熟議の内容や方法等、より効果的で深まりのあるものにしていきたい。
- ◆第2回学校運営協議会において、「地域での子どもたちの居場所づくりについて～不登校の子どもたちに、地域で何かできないか～」というテーマで熟議を行ったが、委員の方より、どうしたらよいかわからないという不安の声や、いきなり不登校対策は難しい、また、予備軍をつくらないことに重点を置いた方が良いといった意見が出されました。具体的な話まではできませんでしたが、このことをきっかけに、第3回学校運営協議会において、名張市教育支援センター指導員を講師に迎え、児童への心理的なサポートや学習支援等について研修の機会を設けることに繋がりました。このテーマについては、引き続き、来年度以降に熟議を行っていく必要があると考えています。

4. 学校運営協議会の組織図



美旗小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和5年6月1日（木）9時40分～11時30分〉

- ① 授業参観（2限目）
- ② 委嘱状の交付
- ③ 委員自己紹介、会長・副会長の選出
- ④ 学校運営協議会の在り方
- ④ 令和5年度学校運営について
- ⑤ 協議
 - ・登下校や授業参観を通じて感じられた子どもの様子から「はつらつとした子ども」の具体的な姿とは
 - ・学校図書館の利用の様子 等

【第2回】学校運営協議会〈令和5年10月31日（火）9時40分～11時30分〉

- ① 授業参観（2限目）約30分間、ビデオ視聴（運動会の様子）約15分間
- ② 学力の向上について 全国学調の結果より
- ③ 協議「美旗小学校の『強み』を生かすために（学校・家庭・地域の役割）」
 - 熟議1：行事や体験活動を通して、子どもたちに望むことや身に付けさせたいことは？
 - 熟議2：あいさつの活性化を図るために、「学校」「家庭」「地域」ができることは？

【第3回】学校運営協議会〈令和6年2月22日（木）10時～11時30分〉

- ① 第2回を受けての今年度の取組について
- ② 今年度学校アンケートの結果より
- ③ 学校自己評価について
- ④ 学校運営協議会自己評価書について
- ⑤ その他
 - ・児童在校時間帯の体育館前駐車場ゲート閉門について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 学力向上に向けて、全国学調や生活アンケートから見えてきた生活習慣についての課題を共有し、解決のために地域・保護者・学校ができることについて、熟議を行いました。
- ③ 美旗小学校の『強み』を生かすために、「行事」「あいさつ」の観点から学校・家庭・地域の役割を考え合いました。



①授業参観



②・③学校運営協議会

(2)【学校支援の充実】

- ① 昨年度実施された150周年事業の取組である図書室の改修や美旗まちづくり協議会からの図書の寄贈により、読書に関わる環境整備が大変充実しました。このような支援もあり、子どもの読書率・図書室利用率が上がったことを受け、まちづくり協議会から図書の継続的な寄贈をいただけることになりました。あわせて、コロナ禍で止まっていた、ボランティアによる読み聞かせの活動再開にもつながり、子どもたちが本に触れる機会がさらに増えました。
- ② 拡充された蔵書の修繕及び整理整頓といった蔵書管理、図書室全体の環境整備の支援を受けることができました。
- ③ 学習支援ボランティアが増え、主に家庭科の実習補助等、授業の支援が拡大しました。
- ④ 「トイレクリーンキャンペーン」と称し、地域ボランティアと有志の保護者によって児童用トイレの清掃をはじめとする、トイレ環境整備支援をしていただきました。



①読み聞かせ



③学習支援



④環境整備支援

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 夏季休業期間中に図書室を開放し、地域の方にも利用いただきました。その折に、読み聞かせ・学習支援ボランティアの方々にもお手伝いいただき、紙芝居や絵本の読み聞かせ、宿題をはじめとした学習支援のコーナーも設置することができ、地域の方の活動の場の一つとなりました。
- ② 地域の防災訓練に高学年が参加し、簡易テントの組み立てや傷病人の搬送訓練などを地域の方と一緒に行いました。
- ③ 通学路安全キャンペーンとして、地域の方や保護者といっしょに通学路の危険箇所のチェックを行うとともに、地域のごみ拾いを行うなど、地域環境の整備に参加することができました。
- ④ 敬老の日に合わせて、全校児童で地域のお年寄りに向けたお手紙を書く活動に取り組みました。地域の方からは、多くのお礼のお返事もいただき、子どもたちと地域の方との交流が深まりました。
- ⑤ 美旗秋祭りにて児童数名がMJクラブ（美旗ジュニアクラブ）として運営に参加しました。子どもたち自身が「何がしたいか」「何ができるか」といった出店に関わる企画段階から参画し、当日にはいくつかのブースも担当しました。



①図書室開放



②防災訓練



⑤美旗秋祭り
MJクラブ

3. 成果と課題

【成果】

- ◇昨年度の150周年の取組から学校運営協議会でも特に議論をしてきた「読書」を始めとする図書教育について、地域の協力を得ながら、本年度も継続して取り組むことができ、発展させることに繋がりました。
- ◇PTAとともに取り組むボランティア活動として「できる人が、できることを」という意識が広がりを見せている。PTA本部からの呼びかけで、ボランティアを募っての活動も計画することができ、軌道に乗せることができました。
- ◇校務分掌にCS担当を位置付けたことで、教職員に地域や保護者との協働の意識が広がってきています。

【課題】

- ◆すべての児童が積極的に活動できる取組づくりを進める必要がありますが、学校のカリキュラムの中だけで行うには時間をはじめ制約も多く、課題があります。継続した取組とするためにも、学校運営協議会の中で引き続き議論していく必要があります。また、休日の地域活動に位置付けられる家族で参加できるイベントに学校が参画することが、働き方改革の観点からも職員の過度な負担にならないように工夫する必要があります。
- ◆昨年度からの図書室の整備は教職員のニーズとも重なり、また、見えやすいものでもあり、取組が進みました。このような見えやすい取組の成果もあり、コミュニティ・スクールの意識が教職員の中に浸透してきています。今後、更に学校と地域が一体となって、より協働できるコミュニティ・スクールをめざすため、CS担当教員を筆頭に教職員の学校運営協議会への参加等、学校運営協議会委員と教職員との距離を更に縮める工夫を図っていきたい。

4. 学校運営協議会の組織図

